

2007年8月7日

福井県教育委員会

教育長 広部正紘 様

市民オンブズマン福井

代表幹事 吉川健司

埋蔵文化財の調査報告書未刊行問題に関する公開質問状

1970年代から90年代後半にかけて福井県教育委員会が発掘調査を行った埋蔵文化財のうち、調査報告書が刊行されないままになっている問題について、7月27日付けの新聞報道によると（別添福井新聞）、県教育委員会が進めている調査の経過報告は、30年以上も予算が執行されていない、あるいは未刊行であるにもかかわらず印刷業者には費用が支払われたままになっているなど、杜撰極まるものです。

このような事態を、埋蔵文化財を共有する県民として、また調査報告書の刊行などに関する費用を税金で分担する納税者として看過することはできません。

これらの問題に関し、下記の4項目について質問と提案をいたします。
ご検討の上、ご回答は文書にて8月21日（火曜）までに郵送して下さるようお願いいたします。

記

1. 調査の経過に関するものの全面公開について

未刊行問題の調査の経過に関する取りまとめ文書（①刊行が遅延した理由、②会計処理上の問題点、③今後の刊行予定、④再発防止策、⑤その他）については、それらの全てが県民に公開されるべきだと考えますが、貴職はどのように対処されるおつもりなのかをお尋ねします。

2. 19件の個々の会計処理を全て明らかにすることについて

「福井県埋蔵文化財調査未刊行報告書」(別添)に記載されている19件については、名称(遺跡所在地)ごとの予算額(未執行額)、印刷業者に対する事前支払額、他用途への流用額とその内訳などを、県民に全て明らかにし、また資料の全てを公開すべきだと考えますが、貴職はどのように対処されるおつもりなのかをお尋ねします。

(「福井県埋蔵文化財調査未刊行報告書」は7月3日付で公文書公開請求したもののうち、7月20日に一部公開されたもの)

3. 未刊行報告書に係る費用のカンパについて

未刊行報告書に係る費用については、職員や退職者によるカンパを実施する意向であると報道されましたが、①カンパ実施の必要性とその理由、②対象者と集金の予定額などの計画内容等、これらに関する文書を作成し、県民に公開することが必要だと考えます。この点について、貴職はどのように対処されるおつもりなのかをお尋ねします。

4. 外部監査の実施について

今回の問題に関し、その原因と実態および責任の所在を明確にし、再発防止を図るためには、教育委員会のいわゆる身内の内部調査では公平性や徹底を欠くことが考えられます。この際、弁護士、公認会計士などによる外部監査を実施し、正当な解決策を講じることが必要だと考えますが、貴職のご見解をお尋ねします。

以上

〒910-0004 福井市宝永4丁目9-15

泉法律事務所内

市民オンブズマン福井

FAX 0776-30-1373

事務局 090-9441-6149/伊東